

平成23年 8月 9日

愛知県卓球協会  
会長 後藤 淳 殿

宮城県高体連卓球専門部  
部長 菊地 恵一  
(公印省略)

東日本大震災被災地に対する支援について (御礼)

拝啓 暑さきびしい折、皆様におかれましてはますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災における地震と大津波により、我が宮城県も甚大な被害を受けました。多くの人命が失われ、学校や住宅、企業や公共施設、鉄道や道路、水道などが破損し、学校現場においても校舎が全損、生徒が遠隔地の他施設へ移動して高校生活を送り、未だに部活動もままならない生徒たちがいるなどその爪跡は大きく残っています。

このたび、貴協会より多大なご支援をいただいたことは、当専門部の生徒たちにとってとても心強い励ましとなりました。多くの学校、生徒たちが卓球用具を失い、卓球部の活動にも苦慮していた中、夢や希望を持ち練習に汗を流す支えとなりました。誠に感謝申し上げます。

復興への道もまだ歩み出したばかりですが、宮城の卓球界が一丸となってこれから頑張りたいと思います。

末筆になりましたが皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

敬具

平成23年 8月 5日

愛知県卓球協会  
会長 後藤 淳 様  
理事長 松原 暁美 様

岩手県立大船渡東高等学校  
校長 中村 道典

東日本大震災における支援について（御礼）

このたびの東日本大震災に際しまして、数多くの皆様にご心配をいただき、お見舞いと激励のことば並びにご支援をいただき心より御礼申し上げます。

お陰をもちまして、生徒も落ち着いた学校生活をはじめ、学習や部活動も徐々に活発化し、生徒のいきいきとした姿が見えるようになってまいりました。

これもひとえに皆様の温かいご支援によるものと心から感謝いたしております。

このたびの支援物資を本校卓球部の活動に有効に活用させていただき、今後皆様のご期待に添えますよう精一杯の努力をいたす所存でございますので今後ともよろしく願い申し上げます。

略式ながら書中をもってお礼のことばに代えさせていただきます。

愛知県卓球協会様へ

こんにちは。岩手県の大船渡東高校卓球部です。先日はたくさんの支援物資をいただき、ありがとうございました。

現在、私たちは、男子14名、女子2名で活動しています。今、8月11日に花巻市で開催される「岩手県ジュニア卓球選手権」に向けて練習に励んでいます。もちろん秋の新人戦でも上位を目指しています。

いただいた、練習球はさっそく活用しています。シャツとソックスも部員みんなが気に入って喜んで着用しています。

いただいた支援物資に感謝し、これからますます卓球競技を通して、自己啓発に励んで行きたいと思っています。

本当にありがとうございました。

平成23年8月5日

大船渡東高校 卓球部部長 細川 章太

平成23年8月5日

愛知県卓球協会  
会長 後藤 淳 様

岩手県高体連卓球専門部  
部長 関川 繁雄



東日本大震災における支援について（御礼）

このたびの東日本大震災に際しまして、数多くの皆さまからお見舞いや激励のお言葉、そして数々のご支援をいただきましたことに、心から御礼申し上げます。

今回の大震災および津波によって、岩手県も甚大な被害を受け、多くの尊い人命が失われました。また、学校や公共施設も被災あるいは避難所として使用され、未だ多くの生徒が不自由な学校生活を余儀なくされております。

そのような状況下で、このたび貴協会より多大なご支援をいただきましたことは、岩手の高校生にとって、とても大きな励ましとなりました。今まで元気のなかった生徒たちも、大好きな卓球に取り組めるようになり、前向きに学校生活を送ることができるようになっております。

今後は、この若い世代のエネルギーを、岩手の復興の原動力としてまいりたいと考えておりますので、今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴専門部の益々のご発展をお祈り申し上げ、御礼のことばとさせていただきます。

平成23年 8月 8日

愛知県卓球協会  
会長 後藤 淳 殿

福島県高体連卓球専門部  
部会長 佐藤 和紀



東日本大震災被災地に対する支援について（御礼）

拝啓 暑さきびしい折、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

3月11日に発生した東日本大地震によって、我が福島県も甚大な被害を受けました。多くの人命が失われ、学校や住宅、企業や公共施設、鉄道や道路、水道などが破損致し、さらに福島第一原子力発電所事故による、放射能被害も福島県全域に及んでおり、収束のめどさえも立っておりません。

学校現場においても校舎が全壊したため、体育館で授業を行い未だに部活動もままならない生徒が多数おります。

このたび、貴協会より多大なご支援を戴いたことは、当専門部の生徒たちにとって大きな励ましとなりました。多くの学校・生徒たちが卓球用具を失い、卓球部の活動にも苦慮していた中、夢や希望を持ち部活動に励む支えとなりました。

本県復興へ道は険しく、まだまだ暗中模索の状態が続いておりますが、福島県高体連卓球専門部が生徒たちに夢や希望を与えられるよう、これからも精一杯頑張っ参りたいと思っております。

末筆ですが皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

今後ともご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

敬具